

～目指すべき将来像～

➤ 消費者が安心して安全に暮らせる社会の実現

商品・サービスの安全が確保され、危害等の未然防止や被害の拡大防止・救済が図られることにより、**消費生活の安定と向上が確保されている社会**

➤ 消費者が自分らしい選択をし、誰もが幸せを実感できる社会の実現

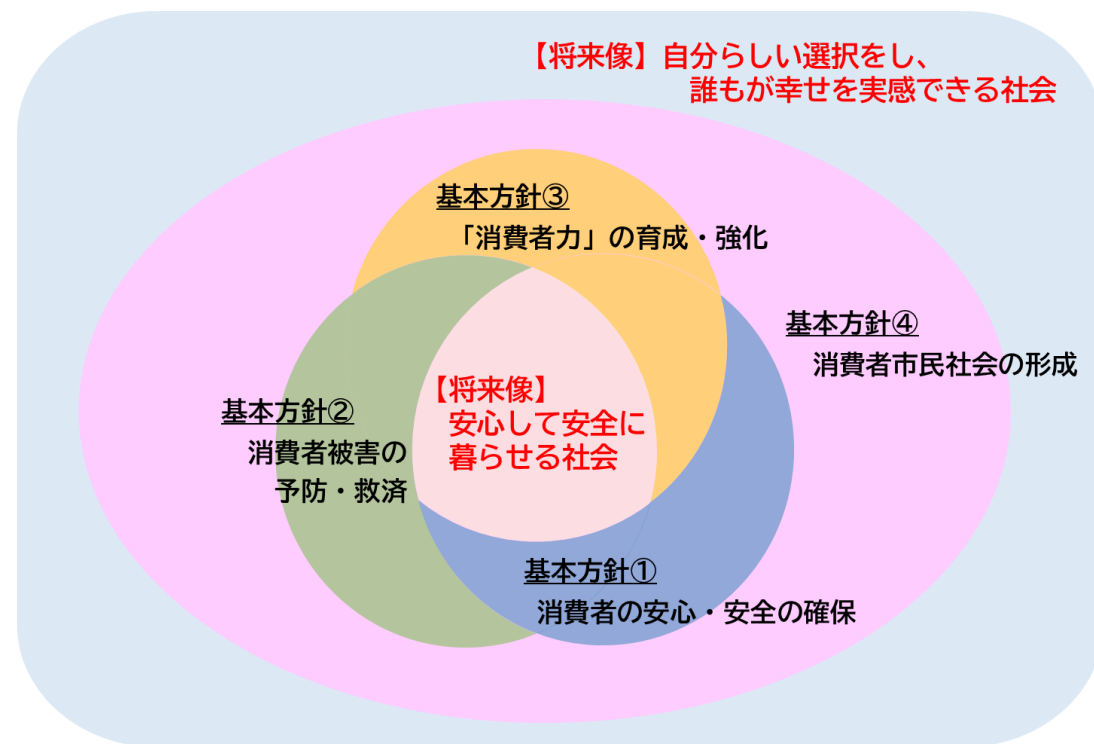
消費者が、京都に息づく暮らしの知恵や心を大切にしつつ、**地域の人々や将来世代、地球環境に思いを馳せながら消費行動を選択**し、社会の発展や課題の解決に参画する「消費者市民社会」の形成を通じて、**幸せや生きがいを実感できる持続可能な社会**

● 4つの基本方針

目指すべき将来像の実現に向け消費生活施策を展開するために、これまでの取組を踏まえつつ、時代の変化に動じない骨格として4つの基本方針を定めます。

消費生活ビジョンの推進に当たっては、4つの基本方針を相互に連携させることで、相乗効果をもたらし、施策の効果的な推進を図ります。

＜基本方針の関係性＞



具体的な取組はどうするの？



京都市エシカル消費推進
マスコットキャラクター
「えしかりん」

社会情勢の変化や消費者被害の傾向を捉え、直面する課題に適切に対応できるよう、個別施策や重点取組を定める事業計画を毎年度策定します。

★ 消費生活ビジョン(案)の本冊では、具体的な個別施策・取組の例を記載しています。表紙の二次元コードからご覧ください。

● 施策の方向性(基本方針・施策目標)

基本方針1 消費者の安心・安全の確保

商品やサービスの安全性を確保するとともに、消費者被害の発生時には、迅速かつきめ細やかな情報提供により、悪質商法や不当な取引から市民を守ります。

施策目標1 **安全な消費生活環境の確保**

商品の安全性確保のための監視
消費者事故・被害発生時の的確な情報提供

施策目標2 **表示・取引の適正化を通じた消費者の選択支援**

商品表示の適正化に向けた事業者の指導
不当な取引の排除

基本方針2 消費者被害の予防・救済

市民からの相談に的確に対応し、消費者被害の救済に努めるほか、地域における見守り機能やデジタル化への対応を強化することで、被害の予防に努めます。

施策目標3 **相談体制の充実・強化**

各種相談の充実、相談窓口の認知度向上
複雑化する相談に対応する職員の能力向上

施策目標4 **配慮を要する消費者への支援**

福祉関係者と連携した情報提供・相談支援
高齢者や障害のある方等への見守り機能強化

施策目標5 **デジタル社会への対応強化**

インターネット取引への対応や、デジタルリテラシーの向上に向けた啓発

基本方針3 「消費者力」の育成・強化

「気づく力」「断る力」「相談する力」等、消費生活に関する知識を適切な行動に結びつけられる「消費者力」の強化に向け、教育・啓発を行います。

施策目標6 **多様な消費者に向けた消費者教育の推進**

消費者の年齢に応じたライフステージや、多様な消費者の特性に配慮した教育・啓発

施策目標7 **消費者教育を担う人材の育成・支援**

学校・地域社会における消費者教育の担い手の育成

基本方針4 消費者市民社会の形成

消費者が、地域の人々や将来世代、地球環境に配慮した消費行動を通じて、持続可能な社会の形成に参画する「消費者市民社会」の形成に取り組みます。

施策目標8 **持続可能な社会に向けた支援**

エシカル消費をはじめ、持続可能な社会に向けた消費行動の促進

施策目標9 **多様な主体による連携・協働の促進**

消費者と事業者双方の信頼の醸成
各種団体・関係機関との連携